

専門分野			
社会心理学 比較文化心理学 発達心理学			
研究課題			
子どもの心の育みと絵本 子どもの自己肯定感の育みについて			
教育活動			
担当授業科目(学部)			
社会心理学 比較文化心理学 社会心理学実習 演習 A 演習 B 大学基礎講座			
担当授業科目(大学院)			
社会心理学特論			
事項	年月	対象者	概要
教育方法の実践例			
作成した教材・資料集			
その他教育活動上特記すべき事項			
帝塚山学院幼稚園との連携～幼児期の心の育みについての社会発達心理学的実習	平成 24 年～現在に至る	演習 A 履修学生	専門課程において、社会心理学の視点から幼児期の心の育みについて研究する学生の現地実習のフィールドとして、帝塚山学院幼稚園との連携プログラムを実施。幼稚園のプログラム(絵本の読み聞かせ、菜園活動、生活発表会、作品展)に現地実習、見学などを通して、日々の幼稚園における子どもたちの活動をともに過ごす時間から学びを深める。また、保育者に対して、教育現場における子どもたちの発達について現代の子どもの発達と発達環境への理解を深めている。さらに、保護者へのアンケートやヒヤリングを通して、子どもを育てる親の心理についても視野を広げて、考える機会に成っている。
常盤短期大学付属泉丘幼稚園との連携～食育と体験の内在化としての絵本の読み聞かせ	平成 24 年～現在に至る	演習 A 履修学生	専門課程において、社会心理学の視点から幼児期の心の育みについて研究する学生の現地実習のフィールドとして、常盤短期大学付属泉丘幼稚園との連携プログラムを実施。幼稚園のプログラム(絵本の読み聞かせ、菜園活動、生活発表会、作品展)に現地実習、見学などを通して、日々の幼稚園における子どもたちの活動をともに過ごす時間から学びを深める。また、保育者に対して、教育現場における子どもたちの発達について現代の子どもの発達と発達環境への理解を深めている。さらに、保護者へのアンケートやヒヤリングを通して、子どもを育てる親の心理についても視野を広げて、考える機会に成っている。

ボローニア絵本原画展鑑賞プログラム～絵本の原画展現時実習プログラム	平成 24 年～現在に至る	演習 A・B 履修学生	専門過程1年目では、子どもの発達と発達環境について理解を広げることを目標に演習プログラムを計画。4月から7月の前期簿授業・演習では、主として座学を中心に子どもの発達と発達環境を学ぶ。夏休みの期間、西宮市立大谷美術館で開催される絵本の原画展において現地実習～原画を通して表現の広さと深さを考える～を実施することにより、絵本のテーマについて、「表現」の厚みを原画鑑賞を通して味わう。演習参加メンバーが、100点にもおよぶ原画から何を感じたかを話し合う時間を通して、仲間の鑑賞視点から学ぶことも多くある。
食育ヤングリーダー支援事業活動・担当教員	平成 24 年 4 月～平成 25 年 3 月	演習 A 履修学生	担当演習の学生が中心となり、保育園の園児が野菜に興味の向上のために食育と絵本の読み聞かせを連携した食育プログラムの実践活動支援。平成 24 年度大阪府主催 食育ヤングリーダー育成支援事業 優秀賞受賞
食育ヤングリーダー支援事業活動・担当教員	平成 25 年 4 月から平成 26 年 3 月	演習 A 履修学生	担当演習の学生が中心となり、保育園の園児が野菜に興味・関心をもつことを目的に、野菜(さつまいも)の栽培活動と絵本の読み聞かせを連携した食育プログラムの実践活動支援。平成 25 年度大阪府主催 食育ヤングリーダー育成支援事業 優秀賞受賞

研究活動

著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前、曲名、担当頁、概要など
著書・訳書・CD 等				
実践的「親学」へ	共	平成 25 年 6 月	時潮社	平塚儒子(監修) 担当:幼児期の子どもの心の発達と絵本 Pp.75-108<概要> 幼児期の子どもの心を育むツールとして絵本を取り上げ、五感を育むことへの絵本の効用を検討した

学術論文

幼児期の子どもの心理発達と絵本～子どもが絵本に出会う発達環境についての一考察	単	平成 24 年 12 月	帝塚山学院大学人間科学部研究年報 第 14 号	Pp. 46～68<概要> 幼児期の子どもの心理発達と絵本の関わりについて、幼稚園児に半構造化面接を実施した。子どもの語りを通して、子どもが絵本に出会うきっかけとして読み聞かせの時間が重要であることが明らかになった。
新しい発見に喜びを感じる心を育てる～心揺さぶる体験を書きことばで表現する実践例を通して	共	平成 24 年 12 月	帝塚山学院大学人間科学部研究年報 第 14 号	吉本優子、谷川賀苗 田中幸枝 矢島多恵 Pp. 101-116<概要> 本研究は、幼稚園の目標としての感性と表現力の育成に関して、表現意欲を高めるような心揺さぶる体験について書きことばで表現する言語指導を幼稚園の現場と連携することによりプログラムを検討、実践例として取り組んだ。実践例の検討から、子どもの表現力の育成には、保育者

				の環境づくり・工夫の大切さが示唆された。
思春期の子どもの生きることへの意味づけ—絵本の共有体験の構造化についての試み、第1報告	単	平成25年12月	帝塚山学院大学人間科学部研究年報 第15号	Pp.51～62<概要>本研究は、幼児期の読み聞かせの必要性、重要性についてこれまでの諸研究を踏まえて生涯発達の視点から絵本の読み聞かせの意義を検討した。今回の報告では、中学生の幼い頃の絵本の共有体験について構造化を目的とした研究の予備調査について結果をまとめた。
実存概念と幼児期の絵本の読み聞かせ体験が絶望感に与える影響の検討	共	平成25年12月	帝塚山学院大学人間科学部研究年報 第15号	五明優介 谷川賀苗 Pp.14-28 <概要>本研究は、生涯発達の視点から、実存概念の有無が絶望的な状況を乗り切る要因になるのか、また、基本的信頼感の成立の要因になっていると考えられる幼児期の絵本体験が実存概念の芽生えに影響があるのかを調査した。さらに、実存概念が絶望感を軽減させるか、幼児期の絵本の読み聞かせ体験が絶望感を軽減させる要因になるか調査を実施した。本研究を通して、実存概念が絶望感を軽減させることが明らかになり、絶望を乗り越える力となることが明らかになった。
学会発表				
野菜観察ノートと言葉・表現の育みに関する一考察	共	平成25年5月	日本保育学会第66回大会	谷川賀苗 吉本優子 田中幸恵 矢島多恵<概要>幼稚園教育としての感性和表現力の芽生えの育成にかんして、表現意欲をたかめるような心揺さぶる体験について、書きことばで表現する言語指導を幼稚園の現場と連携することによりプログラムを検討し、実践例として取り組んだ研究について発表した。
子どもの自己肯定感を育む環境について—研究の流れと予備調査の報告	共	平成26年5月	日本保育学会第67回大会	谷川賀苗 <概要>子どもの自己肯定感の育みについて保育者の視点から検討する研究フレームワークと予備調査について報告した
心とからだを育む共有体験型食育プログラム開発と絵本の連携実践	共	平成27年10月	日本保育学会第68回大会	谷川賀苗 吉本優子 松山由美子<概要>心とからだを育む共有体験型食育プログラムの開発と絵本の連携についての実践報告を行なった。
幼稚園児対象のこころとからだを育む共有体験型「牛乳」食育プログラムの開発	共	平成27年11月	日本学校保健学会第62回大会	谷川賀苗 吉本優子 松山由美子<概要>心とからだを育む共有体験型食育プログラムの開発と絵本の連携についての実践報告を行なった。
絵本の読み聞かせの効果性に関する研究	共	平成29年3月	日本発達心理学会第28回大会	谷川賀苗 上原依子 <概要>幼稚園の保護者を対象に行った絵本の読み聞かせについての調査のうち、絵本から得られることの内容について構造的な視点から検討を行った結果を報告した。
演奏会・発表会				
その他の研究発表、演奏				

その他の著書、訳書等(雑誌原稿等を含む)			
研究助成金の受給状況			
科研費の採択			
研究タイトル		助成金タイトル、支給元	
大学生の自己肯定感(セルフエスティーム)を育む教育プログラム開発～自己肯定感と食行動の関連の視点から～		帝塚山学院大学	
		研究代表者・分担者の区別	
		研究代表者谷川賀苗分担者吉本優子(帝塚山学院大学) 梅本真美(帝塚山学院大学) <概要>大学生生活への不適応及び抑うつ傾向の要因としての食行動を取り上げ、大学生の自己肯定感の育みを目指した具体的な食行動を見直す教育プログラムを開発することを目的とした。今回は、ベースライン調査を主として、大学生の自己肯定感、幼児期の食環境、現在の食行動、および疲労自覚症状について質問紙調査を実施し、大学生の自己肯定感の育みを目指した食行動教育プログラム開発の基礎資料を得ることを目的とした。	
		支給額	
		500,000 円	
		支給年度	
		平成 25 年度	
研究タイトル		助成金タイトル、支給元	
こころとからだを育む共有体験型「牛乳」食育プログラムの開発		「食と教育」学術研究助成 一般社団法人ミルク	
		研究代表者・分担者の区別	
		研究代表 吉本優子(帝塚山学院大学) 分担者 谷川賀苗 松山由美子(四天王寺大学短期大学部) 幼稚園児に牛乳・乳製品の普及と理解を目的とした食育プログラムの開発の中で、特に言葉の育みと絵本の分野を担当	
		支給額	
		1, 000, 000円	
		支給年度	
		平成 26 年度	
その他の外部資金による活動			
研究タイトル		助成金タイトル、支給元	
		支給額	
		支給年度	
その他研究活動上特記すべき事項		年月	
		概要	
学内委員等			
就任期間		機関名・委員名・役職名	
平成 24 年度		教務委員、センター入試委員	
平成 25 年度		教務委員、センター入試委員	
平成 26 年度		教務委員、高大連携委員	
平成 27 年度		入試運営委員会、合否判定案作成委員会、HSAO 入試運営委員会、オープンキャンパス運営委員会、自己点検・評価委員会、心理学科長(8 月まで)	
平成 28 年度		生涯学習センター委員会	
社会活動			
学会役員			
就任期間		学会役員名	

公開講座				
講座名、講演タイトル	単共 の別	年月	場所	概要
学外機関委員等				
就任期間		機関名・委員名・役職名		
その他、学会や学術的団体での活動、社会活動上特記すべき事項				
平成 24 年度 帝塚山学院高等学校 創究講座 高校 1 年生「心理学」絵本と子どもの心の育み 高校 2 年生「子ども、保育、教育」子どもとコミュニケーションを 紡ぐ				
平成 25 年度 帝塚山学院高等学校 創究講座 高校 1 年生「心理学」絵本と子どもの心の育み 高校 2 年生「子ども、保育、教育」子どもとコミュニケーションを 紡ぐ				
平成 26 年度 帝塚山学院高等学校 創究講座 高校 2 年生「子ども・保育・教育」絵本と子どもの心の育み				
平成 27 年度 帝塚山学院高等学校 創究講座 高校 1 年生「子ども・保育・教育」絵本と子どもの心の育み				
平成 28 年度 帝塚山学院高等学校 創究講座 高校 1 年生 心理学 絵本と子どもの心の育み				
海外での活動				
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること				
期間	国名	概要		